

普及活動情勢報告

情勢報告（平成29年6月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

全国農業担い手サミットの成功に向けて ～四万十町認定農業者連絡協議会理事会の開催～



理事会の様子

6月5日、四万十町認定農業者連絡協議会理事会が普及所会議室で開催され、認定農業者及びJAなど関係機関の職員19名が参加しました。

普及所は、本年10月に開催される全国農業担い手サミットinこちらの概要説明と認定農業者の参加協力をお願いしました。理事会としては、できるだけ多くの認定農業者が参加できるように、本年度計画に費用を助成することを盛り込むことにしました。

高南地域実行員会を中心に認定農業者と連携して、全国農業担い手サミットinこちらの成功に向け取り組んでいきます。

ショウガの安定生産に向けて ～JA四万十生姜部会通常総会の開催～



総会の様子

6月13日、JA四万十生姜部会通常総会が、四万十農協会館で開催されました。

総会では、事業実績や事業計画、役員改選等について審議され、承認されました。その後、市場や園芸連担当者から市場動向や出荷販売状況について報告がありました。

普及所からは、実証試験の進捗状況及び計画、雇用対策についての情報提供を行いました。

今後も、JA四万十と連携し、農家の栽培技術向上等に向けて支援を行っていきます。

品質向上に向けて ～JA高知はた大正支所・十和支所シシトウ部会目慣らし会開催～



大正出荷場
目慣らしの様子

5月29日（大正地域・雨よけ）、6月15日（十和地域）、6月16日（大正地域・露地）に、シシトウ目慣らし会が開催され、生産者75名が出席しました。

販売担当者からは、出荷規格の遵守やパック詰め注意事項、出荷資材について、また同席した園芸連からは販売情勢と出荷場GAPについての報告と市場事故防止への協力要請がありました。

普及所からは、農薬の適正使用と病害虫防除についての情報提供を行いました。

今後も、北幡営農センターと協力して生産者の栽培技術向上に向けて支援を行っていきます。

平成29年度の普及活動の取り組みについて ～高南農業改良普及推進協議会の開催～



協議会の様子

6月12日、普及所が主体となり管内の生産者、役場、JAなど関係機関と高南地区農業改良普及推進協議会を開催しました。

協議会では、普及所が平成29年度に取り組む総合及び個別課題の普及計画を説明した後、意見交換を交え生産者や関係機関から助言をいただきました。

また、環境保全型農業の取り組みとして28年度に実施したミョウガなどの実証結果や有機農業、本年度本県で開催される全国農業担い手サミットについて情報提供しました。

普及所は、今後も高南地域の農業の発展を目指し、生産者、関係機関と連携し普及活動に取り組んでいきます。

有機栽培の技術向上を目指して ～サトイモ現地検討会の開催～



現地検討会の様子

6月13日、サトイモ栽培に取り組んでいる有機栽培グループの現地検討会が、窪川地域で開催されました。

地域アクションプラン「四万十町畑作振興プロジェクト」活動の一環で、当日は8名の参加がありました。

十和地域で有機栽培に取り組んでいる桐島氏を講師に迎え、ほ場ごとに管理のアドバイスがあり、参加者からは「農法に関係なく、基本管理の重要性がわかった」との声がありました。

その後の反省会では、普及所からかん水や追肥方法について説明し、今後の管理について参加者と再確認することができました。

普及所は、これからも桐島氏と連携し、有機栽培の技術向上に取り組んでいきます。

‘にこまる’の品質向上を目指して ～JA四万十エコ栽培米生産部会 6月現地検討会の開催～



現地での栽培指導

6月20日、‘にこまる’のブランド化に取り組んでいるJA四万十エコ栽培米生産部会の現地検討会が開催されました。

普及所は、これまでの生育状況を報告するとともに、中干しや溝切りの効果、調節肥の施用について指導しました。

また、部会生産者のほ場を巡回し、草丈、茎数、葉色などの生育調査を実施し、生育に合わせた栽培管理について指導しました。

普及所は、今後も現地検討会、個別巡回、生育調査を通じて‘にこまる’の品質向上に向けた栽培指導に取り組んでいきます。